

1. 登米市全域の取り組み

- ① 豊かな自然環境を守り、育てます。 **重点** 1
- ② 身近な生きものや自然を学ぶ機会を増やします。 **重点** 4
- ③ エコツーリズム等を通じて地域の魅力を高めます。 7
- ④ 地域の自然の恵みを活かし、持続的に使う取り組みを進めます。 **重点** 8
- ⑤ 登米市の生物多様性に関する情報を継続して集め、皆で共有できる環境を整えます。 9
- ⑥ 生物多様性保全を進めるための支援制度の充実を図ります。 10

2. エリアごとの取り組み

■人と森の共生エリア

- ① 生きものと共生する持続可能な森づくりを進めます。 **重点** 11
- ② 森の恵みを持続的に使いながら、森を豊かにする取り組みを進めます。 13
- ③ 森の恵みを活かした環境教育やエコツーリズムを進めます。 14
- ④ 既存の施設等を活用して、森の恵みの豊かさを知ってもらう取り組みを進めます。 15

■人と農の共生エリア

- ① 生きものと共生した安全・安心な農業をさらに進めます。 **重点** 16
- ② 市内で採れた旬の食材を購入・消費する機会を増やします。 17
- ③ 農地やその周辺の生物多様性を高める取り組みを進めます。 18
- ④ 生きものと共生する農業や農法を広める取り組みを進めます。 19

■人と水辺の共生エリア

- ① かつての美しい水辺を取り戻す取り組みを進めます。 **重点** 20

②	ドジョウやナマズなどが自由に行き来できる水辺を再生します。……………	21
③	かつて登米市の特産品だったエビ類を復活する取り組みを進めます。……………	22
④	身近な水辺を活かした自然体験や環境学習の機会を増やします。……………	23
⑤	国際的に重要なラムサール条約湿地を活かして、地域の魅力を高める取り組みを進めます。……………	24

◆この別冊は、「とめ生きもの多様性プラン」の第4章「行動計画」に記載した方向性を踏まえて、登米市内の様々な主体（市民やNPO、企業、市など）が行う具体的な施策や事業を抽出したものです。

◆本市における生物多様性の保全の視点から、特に重要性が高い取り組みを「重点プロジェクト」として、計画の短期目標年次にあたる2020年（平成32年）までの概ね6年間の間に重点的に取り組むものとし、末尾に **重点** の記号が付してあります。

※この別冊に記載した事業名、取組名は、平成26年9月現在の名称です。